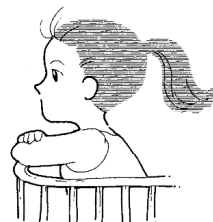


登校拒否・不登校問題

「第15回全国のつどい in 埼玉」

実行委員会ニュース NO.5



第15回全国のつどい in 埼玉実行委員会事務局発行

【事務局連絡先】さいたま教育文化研究所

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂 3-12-24 埼玉教育会館 6 階

事務局直通電話 090-5797-2651 (平日 13 時～19 時)・FAX 048 - 834-3167

電子メール : tsudoi @ tsuyukusa.sakura.ne.jp

URL : <http://tsuyukusa.sakura.ne.jp/>



～～～ 第5回実行委員会 ～～～

猛暑の中、全国から110名が参加！！！！

いよいよ、あと1ヶ月、つどいを熱く語り合いました。

7月25日(日)、「コミュニティーセンター浦和」(さいたま市)で、第15回全国のつどい in 埼玉」の第5回実行委員会が開催されました。

最後の実行委員会、北は岩手、南は宮崎まで、全国から110名もの参加がありました。連日の猛暑にも負けない、つどいへの熱い想いをたつぷりと語り合いました。

恒例の午前中のミニ学習会では、第10回全国のつどい in 千葉の実行委員長、三輪定宣さん(千葉大学名誉教授)が、『「高校無償化」と不登校等への適用』と題して講演しました。

三輪さんは、3月に「衆議院文部科学委員会」に招かれ、参考人として公立私立や親の経済力などによる格差の解消、公費負担基準の制定、不登校や病気、中退、再入学者などへの適用などについて意見陳述もされています。

つどいに向けて「この取り組みも、無償化の視野の中で大きな意義があると思う。ひ弱な社会の中で多くの人が苦労している。公費教育のスタートを切る、くらいの意気込みで取り組んで欲しい」との応援メッセージもいただきました。

いよいよあと1ヶ月でつどい本番です。現地埼玉だけでなく、全国の皆さんに支えられながら準備を進めていますが、まだまだ人手が足りません！地域でもうひと声かけて、つどいへの参加をお誘いいただくと同時に、どうか皆さんの力をお貸しください！！！！

* オープニング♪

『紙芝居屋さん』(アレン・セイ 作/絵) 秩父在住 葭田あき子さん

実行委員会史上初めてでは？素敵な絵本の読み聞かせでした。葭田さんは秩父で行われた第3回実行委員会のミニ学習会で、素敵な和服姿で登場し、「秩父事件」についてお話ししたお母さんです。

毎月1回、小学校などで読み聞かせのボランティアをしているそうです。毎回季節や聞く人の経験を考慮して読む本を選んでいるとのこと。今回は「紙芝居屋さん」。

温かくて懐かしい、お母さんの匂いのする大人のための絵本、会場は『うっとり』の言葉がぴったりの空気が漂いました。ありがとうございました！



* あいさつ

○馬場久志 実行委員長(埼玉大学教授)

「今回は特に遠方からの方が多く、また分科会の話し合いのために初めて参加する方もたくさんいて嬉しい。5回連続という方には頭が下がります。

私達は、効率・合理性を求める世の中とは全く違う。全員参加の話し合いは効率が悪い上に、ここでの話は行きつ戻りつ、しかも一度決まったことでも蒸し返しもあり。

でもそれはつどいへ向けての大事なひとつひとつ。だから今日もきたなく意見を出し合って欲しい。」

○高垣忠一郎 全国連絡会代表世話人(立命館大学教授)

「昨日に引き続き参加の方もいて、お疲れ様。とりわけ埼玉の皆さんには、準備、ありがとう！いよいよあと1ヶ月、よろしくお願いします」

* 経過報告

- ◇第4回実行委員会 6月27日(日)
- ◇第10回事務局会議 7月1日(木)
- ◇分科会についての打ち合わせ 7月7日(水)
- ◇第11回事務局会議 7月15日(木)
- ◇分科会連絡係会議 7月18日(日)
- ◇第12回事務局会議 7月18日(木)
- ◇会場についての打ち合わせ 7月20日(火)
- ※全国のつどい開催・記者発表 7月22日(水)

東京新聞が、地元秩父の様子も報道してくれ、有意義な記事でした。

- ◇実行委員会準備(作業) 7月23日(金)



*** 第5回実行委員会ではこんな内容話し合いました。**



<決まったこと>

○つどい当日の流れの確認確認事項)

タイムスケジュール案に沿って、大まかな作業の流れや担当者について、皆で確認しました。「希望つむいで」は、おわりのつどいで歌うことにします。

○分科会について

- ・再度「分科会連絡係とは」を読み合わせして確認しました。
- ・各分科会の会場について、事務局から提案がありました。分散会が増える分科会もありましたので、部屋割りは再度調整します。
- ・分科会の会場は和室が多いので、正座できない人のためにパイプ椅子などの準備をします。
- ・案内文を変更する分科会は、確定版を事務局柳田まで、データまたは現物を郵送してください。
- ・ひろばの世話人確保は大事なこと。年々子ども達の参加が増えているので、一人ひとりに寄り添うためには人手が必要です。ぜひ支えてください!!!

**※ひろばを手伝ってくださる方を全国から大募集します。
ぜひ、まわりの方にお声掛け下さい。**



○仕事分担について

- ・弁当係・速報係など、配達を伴う仕事には、多くの人手が必要です。
秩父の山奥を味わってみたい方、司会や記録は苦手でも体を動かすことならと言う方、老若男女を問わず、大募集です。どうぞお力お貸し下さい。
- ・速報係は、分科会に入りにくい人やちょっと疲れてしまった人など、誰でも出入り自由な空間の「隙間産業」。気軽にお手伝いに来てください。会場が分かれていますので、5人くらいいてくれると助かります。
- ・受付は受付番号順です。100番ごとに2人の受付をおきますので、15～20人の受付が必要です。今年は若い人たちも入ってくれました。
お近くの方、前泊を予定されている方でお手伝い可能な方は、ぜひお願いします！

○つどい参加呼びかけについて

- ・ 7 / 2 3 現在の申し込みは 1 1 2 名、うち宿泊は 1 0 1 名。
- ・ 返金がある方へのお知らせは参加証と一緒に送ります。

1 日目の各係や分科会世話人のお弁当はこちらで用意します。

1 日目のお弁当代の振込みは不要です。これから申し込む方はご注意下さい。



※『第 1 5 回全国のつどい in 埼玉』を全国各地でどんどん宣伝してください♪

<その他、話合ったこと>



○分科会について

～各分科会に分かれて、当日の運営や役割分担などについて話し合いました～

①小学校の登校拒否・不登校

新しい世話人が 5 名増えました！世話人の自己紹介をたっぷり。役割分担について決め、「どういう分科会に」はこれから連絡を取り合って話し合います。

②中学校の登校拒否・不登校

この分科会に何度も参加している方から、雰囲気や様子を聞いてよかったです。

初参加者に安心してもらうことが一番。分散会は 3 つにする

予定ですが、どう分けるかが難しいですね。



③高校生の登校拒否・不登校

大阪からずっと連続参加している方がいるので、色々教わり心強いです。

分散会は 2 つの予定、当日の運営についてはこれから決めます。

④障がいがある子どもの登校拒否・不登校

案内文の「障がいがある・あるかもしれない」という部分の「かもしれない」を吹き出しに直します。

語り合いを中心にして、お母さん達の思いをたくさん話してもらい、少しでも気持ちを軽くして帰ってもらいたいと思っています。



⑤学校とのかかわり・学校づくり

1 日目は、現在学齢期の子どもを持つ親から、学校とのかかわりの中で辛かったことや嬉しかったことを話してもらいます。2 日目は、色々な立場の人からお話頂きます。今困っている人がいたら、この分科会に参加してもらえよう、声をかけてください。親の会と学校とのかかわりの経験がある方、大募集！

⑥青（成）年期をともに生きるA

体験談・糸口発言なし。交流を中心にします。世話人が少ないので、分散会はしないことにしました。その日だけ参加の人を優先に話してもらいます。

負担を軽くするよう、司会・記録を3コマで交代、こまめに休憩も取りながら（休憩中の交流も大切に）、その都度感想を見て進め方を考えます。

⑥青（成）年期をともに生きるB

参加者した人が安心して語れる分科会にしたいです。参加者が多く、10～40代と年齢の中もあるので、**分散会は3つにする予定**。

⑦さまざまな進路・自立に向かって

例年30～40名が参加、**3分散会**の予定。

10畳の部屋なので、20人を越えるとつらいです。

子ども自身だけでなく、親の価値観も大事な視点になってくるので、臨機応変に対応していきたいです。



⑧居場所とはA

何度も参加している世話人がいるので、安心して進められそうです。

参加者が安心して話せる場にしたいです。毎年分散会にするか、迷うところですが、参加者の様子を見て判断します。

世話人で中国から勉強に来ている方から、自分の国でも同様のことがおこっていることや、地元秩父のお母さん相談員の方の思いなど、世話人同士それぞれの立場で話げできました。

⑧居場所とはB

案内文が完成！毎年参加している方から、様子を聞くことができました。

立場によっても、人によっても思いは様々、居場所作りのノウハウを交流する場ではないことを再確認しました。

分散会になったら世話人経験者が担当することになりました。

誰か糸口発言をしてくれる埼玉の青年はいませんか？



⑨親・家庭の役割と家庭づくり

教育会館を用意してもらったので、**3分散会**にする予定ですが、分散会の分かれ方に工夫が必要かと思います。

ホテルから離れた会場なので、弁当係と速報係はまとめて1名にします。

⑩手をつなぐ輪を広げて

案内文の言葉を少し変更しました。

親の会の運営の悩み、専門家とのかかわり、対等・平等とは何か？親が成長しあうことが大事、という話をしたいと思っています。

全国連絡会について高垣忠一郎さん、埼玉県連絡会について前島康男さんにお話をさせていただきます。広い部屋が欲しいです。

2日目の午後、20名を越えるようなら分散会にします。



⑪医療・福祉とのかかわり

案内文に「匿名性の話し合い」と入れましたが、話し合いの前に必ず確認することなので、削除します。

専門的な情報・かかわりを知りたいので、精神科や福祉関係の方のミニ講演も考えていますが、何を話してもらうか、連絡の取り方に工夫が必要です。

⑫登校拒否・不登校と「非行」

前回同様、世話人の参加者が少なかったため、具体的なことは決められませんでした。参加者の話を聞きながら進めることにします。

今日初参加の青年が「この雰囲気が新鮮、当日が楽しみ」という感想を述べてくれました。



☆当事者・青年・子どもたちのひろば

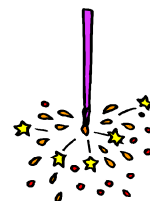
引き続き、世話人大募集です！

あそびのひろばでは、イベントの企画もしていますが、スタッフ1名では外にも出られません。親でもいいので、世話人に入ってください！

イスと机も必要、シャボン玉を使ってもいいかどうか、ホテルに確認してください。

●基礎講座「家庭で」 ●基礎講座「学校で」

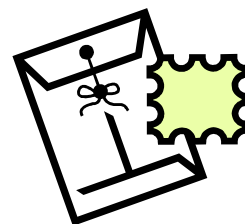
参加証と一緒にお送りする『案内文』をご参照下さい。



○つどい参加者に配布する資料について

- ・事前に参加申し込みした方に送る……8月中旬
- ・当日、参加者に配布する ……8月28日
- ・当日分科会ごとに渡す ……8月28日

封筒に入れる予定の資料を、一覧表をもとに全員で確認しました。他に必要なものがありましたら、事務局までお知らせください。



○第6回実行委員会について

10月24日（日） 岩槻駅東口コミュニティーセンター 多目的ルームC

11：00～ ただ今企画中！詳細は後日、お楽しみに♪

12：00～ 昼食（持ち寄りランチ・みんなでわいわい！）

13：00～ 実行委員会

つどいのまとめについて

18：00 終了

終了後交流会を予定しています。最後の交流会です。ぜひご参加を♪



今後の実行委員会・事務局会議の日程

8月 3日（水）13時～ 実行委員会ニュース発送作業 さいたま教育文化研究所

8月 8日（日）13時～

第13回事務局会議（JR与野駅西口下車2分 下落合コミュニティーセンター）

終了後18:00～ 交流会を予定しています。（別紙をご覧ください）

※最後の事務局会議です。全行程を確認します。関東甲信越の方ふるってご参加下さい！

お手伝いいただける方の情報も、ぜひ持ってきてください！！

8月18日（水）18時30分～『基礎講座「家庭で」』の小柳恵子さんのお話を聞く会

浦和区常盤公民館 会議室

8月24日（火）10時～ 当日資料袋詰め 埼玉教育会館104室

※わいわいがやがやこつこつ作業。県内各地の親の会から、その他どなたでも♪一人でも多くの方が参加して下さいますように。みんなで作業するのっていいですよ♪

8月26日（木）10時～（？） 最終確認 ※追ってご連絡します。

8月27日（金）16時～ 前日準備 秩父農園ホテル

（つどい事務局の直通携帯電話は持っています）

8月28日（土）当日 9時集合 秩父農園ホテル



<参加者の感想より>

実行委員会…なのに
人が多いのにびっくり！！

……でした。

実行委員が…104人！！
(今日来た人だけでも)

(長崎)

紙芝居屋さんの絵本、心にしみ入る
うれしいひとときでした。

いよいよ…ですね。

暑い毎日、皆が元気で「つどい」に向かう
日々を暮らし、秩父につどえますように！！

地元の御準備、本当にありがとうございます。

(京都)

今日の馬場実行委員長のあいさつを
しみじみとききました。

効率、合理化が優先される世の中の中で、
このつどいは、さからっている。

(非効率・非合理的)

全員参加で決める。決めたことでも行きつ
戻りつ、むしかえしつつ…

というプロセスをひとつひとつふんでいく。
プロセスをふむ中に、行きつ戻りつがある。

この非効率、非合理的なものを大事にして
いきたいと思いました。(埼玉・はるかま)

ここ数年の間に、保育合研・学童保育
全国研の開催地となり、全国集会の実行
委員会に参加してきたが、初めて遅刻し
て参加したとたん、世話人となるらしい
ことにおどろいた。

でも、集会直前の実行委員会であれば、
こうやって組み立てるのは、正解、と思
った。前2者のは全国の本部の手足とし
ての役割だったかみせず、みんなで作っ
ていく、このふんい気の方が優れている
と思う。(東京)

三輪先生のお話とても素晴らしかったです。「学問は公平に公的資金で」基本ですよ。

今は家族で負担するので、お金の無い人は、高教育を受けられない。家族で負担して
いるので、家族のための学問になりがち。皆のためにという教育が失われている。人の
ために学問を生かそうという姿勢が失われてしまっている。残念です。

我家の息子は、中学からフリースクール、高校はサポート校、お金がたくさんかかり
ました。

高校の無償化で、サポート校はどうなっているのでしょうか？

サポート校は、ダブルスクールなので、二重にお金が必要です。(埼玉)



“つどい”の実行委員会、いつものことながらスゴイパワーの集まりで、あっとうされます。会議だけでも本番のようないきおいで。少しずつですが、毎年の顔見知りや新しい方と出会え、うれしく思います。

普段活動していると、だんだんと周囲を見る余裕がなくなりがちですが、ここに来ると全国にこんなにもいっぱい思いがあり、色んな方々がそれぞれの地元でがんばっていられるので、気持ちがまた新しくなります。(和歌山)

充実した実行委員会でした。
親も教師も研究者も対等ということに感銘しました。
司会も親でやりたいとの提案に感心しました。

(千葉)



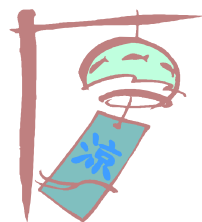
よい大会になる
と思います。
皆様の思いが形
になると良いで
すね。(東京)

電話でしか知らなかった埼玉のお母さんたちに会えました。
昨日は全国連絡会の世話人会のあと、埼玉のお父さんと飲みました。
埼玉のふんいきにひたりながら、今日は8Bの枠ぐみがかたまり、
ようやく、本気モード....
当日まであと1ヶ月、体調をととのえて、休みをとって....
最初のよみきかせの紙芝居物語、私の少年時代を思い出して、
思わず涙しました。(大阪)

第8分科会の「B」でした。役割のこと、内容のことなど、世話人さんの熱い思いが、ひしひしと伝わってきて、実りある実行委員会でした。地元埼玉での開催が楽しみです。

事務局の方もご苦労様です。

良い秩父でのつどいになればと思っています。(埼玉)



午前中の三輪さんのミニ講演から、大勢の方が参加して下さいました。嬉しかったデス。
「なかなか参加者が増えない実行委員会の中で、本当につどいができるのだろうか」とハラハラしましたが、心配になって凹んでいると、まるで遠くから見ているかのように、全国のどこかの方が「大丈夫?」「忙しいでしょう?」「次は行きます」「何でもしますよ」と言うような連絡が入ります。確かに感じる「つながっている」感「支え合ってる」感を味わいながら、最後の1ヶ月、より具体的によりキメ細やかに動いて行けるようにしたいと思います。秩父で待ってます。(埼玉)

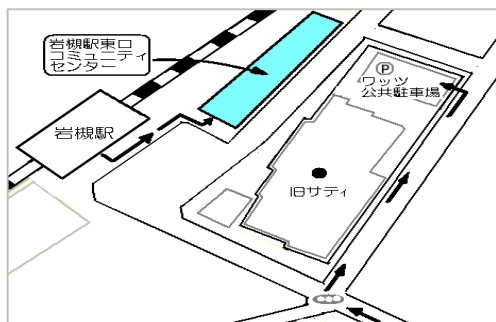
<次回実行委員会のご案内>

10月24日(日)

岩槻駅東口コミュニティーセンター多目的ホールC

13時～18時

(ミニ学習会 11時～12時)



さいたま市岩槻区本町 3-1-1

TEL048-758-6500

(東武野田線岩槻駅下車 左手すぐ

ワッツコミセン 5階)

(会場へのアクセス)

○東京駅 ⇒ JR 京浜東北線で赤羽駅 ⇒ JR 高崎線・宇都宮線で大宮駅 ⇒
東武野田線で岩槻駅

○羽田空港 ⇒ 京急空港線で品川駅(又は有明線で浜松町駅) ⇒ JR 京浜東北線で赤羽駅
⇒ JR 高崎線・宇都宮線で大宮駅 ⇒ 東武野田線で岩槻駅

○東北自動車道 岩槻加倉インター ⇒ 国道16号線 岩槻駅入口を左折 ⇒ 岩槻駅前
(駐車場はコミュニティーセンター手前の「WATSU公共駐車場」が利用できます。

30分まで無料、以降30分毎100円。

マルエツで1000円以上で1時間、2000円以上の買物で2時間の無料サービスあり。



登校拒否・不登校問題全国連絡会へのお誘い

すべての子どもたちが、生き生きと自立へと向かって
成長できることを願い、ひとりぼっちで悩む親や教師が
なくなるように…と、95年に全国連絡会ができました。

ニュースレターでの交流や、「全国のつどい」などで交
流をしています。ご入会されたい方、詳しく知りたい方は、
実行委員会もしくはつどい事務局までお問い合わせください。

<つどいに文章で参加すると、寄せられたメッセージです！>

登校拒否・不登校問題「第15回全国のつどいIN埼玉」実行委員会のみなさんへ

鳥羽さんはじめ、実行委員のみなさん、準備ごころうさまです。いつも、ご案内ありがとうございます。もう少し3番目が大きくなったら、私もお役にたてるようになると思うので、ぜひ、見捨てずをお願いします。

全国のつどいは実は参加予定だったのですが、どうしても用事が入ってしまい、参加できなくなっていました。

そこで、お手紙で参加させていただきます。

長女が、「もう二度と学校にいかない！！」と言い出したのは、小学校5年の冬でした。

その日から、地獄のような日々が始まりました。学校へ行く、行かないをめぐっての親子のバトル…先生が訪問に見えるたび、荒れる娘…周りの人々の心ない言葉。

これに終止符を打ったのは、娘の「私立の女子中学に行く。それまではフリースクールで頑張る」という決意でした。娘は決意通り、家から片道1時間半のフリースクールに通い、受験勉強をやりぬきました。けれど、それは孤独な戦いで、いまでも母子二人でトンネルの中をさまよっているような心細さを思い出します。

娘が、「どうしてもここに入りたい。ここ以外は受験しない」と決めた私立中高一貫校に入学が許され、娘は見違えるように生き生き暮らし始めました。交友関係もいろいろあっても、素晴らしいかたにめぐり合い、成績も入学当初から、ぐんぐん伸びていきました。

現在、長女は「海外で働きたい」という将来への希望のため、ニュージーランドへ語学留学に行ってます。毎日のようにくる電話やメールでは、ホストファミリーや留学仲間と楽しく暮らしている様が伝わってきます。先日の母の日には、「お母さん、今の中学校に行かせてくれてありがとう。ニュージーに來させてくれてありがとう」というカードが届き、思わず涙をこぼしてしまいました。

こう書くと、めでたしめでたし、よかったねで終わるのですが、実は我が家の中2の次女が現在不登校になっています。5月には、学校へ行かなければという葛藤で、吐き気や下痢を起こし、食事もとれない状態が続きました。6月に、もう学校へは行かないと決めて(本人が決めているようです)、みるみる健康と明るさを取り戻しました。

2人の子どもが不登校になって、今私が考えていることは、もう、学校へ行かないということ、を、非常識だとか困ったことだとか、不幸だとか考えないようにしようということです。長女の

時、あれだけ苦しんだのは、私の中に「いい学校へ行って、いい大学へ行って、いい暮らしをしてほしい」とか「せめて、人並なこどもであってほしい」とか、常識にとらわれた、幸せ観にひたっていたからだと思います。

しかし、時代の激動の中で、いい学校に行つて、競争社会に勝ち抜くことが幸せを完全に保証する道なのでしょうか？当たり前な暮らし、というものが、どこに存在するのでしょうか？「本当のしあわせ」というものを、今みんなで考え合っているんじゃないでしょうか？そのことを気づかせてくれた娘たちに心から感謝しています。

まわりの友人たちと話すと、「だれだれは、県立××高校に行った」など、いまだに競争原理にとらわれている人が多数派であることはわかります。偉そうなことを言っても、そういう人たちと話していると、ついつい、卑屈な気持ちに落ち込んでしまう時もあります。子どもの不登校という機会を共有しているみなさんと、手を取り合つて、元気に過ごしていきたいと思う瞬間です。

日本は高度に発達した資本主義国であり、さまざまな個性が多様に発展しています。にもかかわらず、高いGDPを子どもたちの多様性をより発展させる方向に使わずにきました。その結果は、膨大な不登校児童という数にあらわれています。1学級の児童・生徒数を減らすと同時に、競争的な教育を改めて、一人ひとりの発達という教育の目標に合致した学校教育に転換する必要があると思います。学校に行けなければ、勉強も保障されないという、学校至上主義ではなく、ケースに応じて不登校の子供の人権が保障されるように、訪問教育やフリースクールなど多彩な教育機関に公的支援の門戸をひらくべきでしょう。

今日も仕事が終わって、家に帰ると次女があれこれ話しかけてきます。一時期反抗的で口もきいてくれなかった子が、歩み寄ってきてくれます。娘にとっては、つらい時期かもしれませんが、今を好機として、子どもしっかり向き合える親に成長したいと考えている私です。

馬場民子(埼玉)